



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舟竹 泰昭
 問合せ先責任者(役職名) 専務執行役員企画部長 (氏名) 河田 久尚 (TEL) 03-3211-3041
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	33,067	△10.3	8,395	△24.4	6,776	△11.0
2020年3月期第1四半期	36,895	2.9	11,108	10.1	7,615	15.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,569百万円(△15.6%) 2020年3月期第1四半期 7,786百万円(46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2021年3月期第1四半期	円 銭 5.75	円 銭 5.74
2020年3月期第1四半期	6.39	6.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,164,117	222,870	19.0
2020年3月期	1,085,885	222,833	20.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 221,444百万円 2020年3月期 221,212百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,800	△9.0	18,000	△10.6	12,600	△3.4	10.69
通期	134,200	△9.6	32,800	△17.6	23,000	△12.0	19.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,179,308,000株	2020年3月期	1,179,129,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	798,656株	2020年3月期	798,656株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,178,346,080株	2020年3月期1Q	1,190,246,504株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	4
（3）業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（追加情報）	8
（別紙）2021年3月期 第1四半期決算補足資料	

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2020年8月7日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、国内外における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、きわめて厳しい状態に陥りました。2020年5月の緊急事態宣言解除以降、経済活動が徐々に再開してまいりましたが、回復のペースは限定的であり、期間を通じ厳しい状態で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、お客さま、お取引先さま、従業員の安全確保を最優先に、「安心・安全」なATMサービスを提供し続ける社会インフラとしての使命を全うしてまいりました。2020年3月の東京都知事による週末の外出自粛要請、2020年4月の政府による緊急事態宣言発出等の政府・自治体の感染症拡大防止対策による影響を受けATM利用件数が大幅に減少したことを主因に当第1四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益33,067百万円、経常利益8,395百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益6,776百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益26,524百万円、経常利益8,120百万円、四半期純利益5,609百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
経常収益	36,895	33,067	10.3%減
経常利益	11,108	8,395	24.4%減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,615	6,776	11.0%減

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

①国内事業セグメント

・ATMプラットフォーム事業

当第1四半期連結累計期間は、政府・自治体による新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛や在宅勤務の推進等による影響を主因にATM利用件数が大幅に減少いたしました。2020年5月25日の緊急事態宣言解除以降、経済活動が徐々に再開されたことに伴い2020年6月以降のATM利用件数は前年同期と同水準程度まで回復しております。なかでも、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が提言した「新しい生活様式」でキャッシュレス決済を推奨したこともあり、当社ATMを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数は前年度より継続し大幅に増加しております。

2020年6月末現在のATM設置台数は25,260台（2019年6月末比0.0%増）、当第1四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は85.4件（前年同期比4.6%減）、ATM総利用件数は195百万件（同4.8%減）と推移いたしました。なお、2020年6月末現在の提携金融機関等は、613社（注）となりました。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2020年3月期		2021年3月期	
	第1四半期 連結累計期間	通期	第1四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	89.6件	92.1件	85.4件	87.5件
■ATM期間総利用件数	205百万件	849百万件	195百万件	807百万件
■ATM台数	25,252台	25,215台	25,260台	25,515台

・決済口座事業

スマートフォンアプリ「Myセブン銀行」では2018年11月30日付にて施行された犯罪収益移転防止法施行規則に基づき、オンラインでの本人確認に対応し最短10分で口座開設ができる即時口座開設サービスを2020年4月より提供しております。このような取組みの結果、2020年6月末現在、個人のお客さまの預金口座数は、2,221千口座（2019年6月末比8.1%増）となりました。個人向け預金残高は4,876億円（同10.3%増）、個人向けローンサービスの残高は226億円（同0.5%減）となりました。また、デビット付きキャッシュカードは「キャッシュレス・消費者還元事業」の登録決済事業者として参画したことも寄与し、当第1四半期連結累計期間の取引件数は4,212千件（前年同期比34.4%増）となりました。

	2020年3月期		2021年3月期	
	第1四半期 連結累計期間	通期	第1四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,054千口座	2,179千口座	2,221千口座	2,400千口座
■個人向け預金残高	4,418億円	4,586億円	4,876億円	4,975億円
うち普通預金残高	3,016億円	3,245億円	3,527億円	—
うち定期預金残高	1,401億円	1,340億円	1,348億円	—
■個人向けローン残高	228億円	232億円	226億円	260億円

②海外事業セグメント

・米国

米国における当社連結子会社のFCTI, Inc. は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う米国政府による国家非常事態宣言、米国主要都市のロックダウン等の影響を受け、2020年3月よりATM利用件数に減少がみられましたが、2020年5月以降、経済活動再開等の動きを受け足許でのATM利用件数は前年同期を上回る水準に回復しております。米国セブン-イレブン店舗以外に設置している低採算ATMを計画的に整理したことにより、米国セブン-イレブン店舗内設置ATMの8,480台を加えた2020年3月末時点の合計ATM設置台数は10,759台（2019年3月末比13.0%減）となりました。また、FCTI, Inc. の連結対象期間（2020年1～3月）の業績は、経常収益58.1百万米ドル、経常利益4.3百万米ドル、四半期純利益4.2百万米ドルとなりました。

・アジア

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、堅調に事業を推進し、2020年3月末時点のATM設置台数は267台（2019年3月末比167.0%増）となりました。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は年内の事業開始を計画しておりましたが、フィリピン国内での新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえ、対応を検討しております。

（2）財政状態に関する定性的情報

総資産は1,164,117百万円となりました。このうちA T M運営のために必要な現金預け金が904,402百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が77,381百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるA T M仮払金が97,278百万円となっております。

負債は941,247百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は762,174百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は352,763百万円、定期預金残高は134,853百万円となっております。

純資産は222,870百万円となりました。このうち利益剰余金は156,051百万円となっております。

（財政状態）

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減
総資産	1,085,885	1,164,117	78,232
負債	863,051	941,247	78,195
純資産	222,833	222,870	36

（3）業績予想に関する定性的情報

2020年5月8日公表の2020年3月期決算短信では、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループにもたらす影響について未確定要素が多く、適正かつ合理的な予想の算出が困難であったため、2021年3月期の業績予想を未定としておりましたが、現時点の事業環境や業績動向、並びに当期末までの一定の前提条件を踏まえて算定いたしました。

現時点においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する強い懸念があり、経済の先行きに対する不透明感が存在しております。業績予想を算定するにあたっては、第2四半期以降も更なる感染拡大や長期化が懸念され、少なくとも当年度中は行動自粛や新しい生活様式の事業環境に与える影響が残ることを前提としております。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

（連結業績予想）

	2021年3月期	
		前年同期間比
経常収益	1,342億円	9.6%減
経常利益	328億円	17.6%減
親会社株主に帰属する当期純利益	230億円	12.0%減

※前提となる為替レート：U.S. \$1=108.00円

（セブン銀行単体業績予想）

	2021年3月期	
		前年同期間比
経常収益	1,098億円	8.7%減
経常利益	324億円	28.0%減
当期純利益	224億円	19.0%減

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	848,446	904,402
有価証券	70,911	77,381
貸出金	23,283	22,680
外国為替	0	0
A T M仮払金	81,965	97,278
その他資産	16,365	16,912
有形固定資産	13,985	13,413
無形固定資産	29,665	31,003
退職給付に係る資産	378	393
繰延税金資産	909	674
貸倒引当金	△25	△24
資産の部合計	1,085,885	1,164,117
負債の部		
預金	683,760	762,174
譲渡性預金	800	300
借入金	196	—
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	45,052	50,676
その他負債	27,288	21,600
賞与引当金	573	815
退職給付に係る負債	3	3
役員退職慰労引当金	4	4
株式給付引当金	236	547
繰延税金負債	137	126
負債の部合計	863,051	941,247
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,757	30,788
利益剰余金	155,760	156,051
自己株式	△338	△338
株主資本合計	216,882	217,226
その他有価証券評価差額金	499	480
為替換算調整勘定	3,767	3,678
退職給付に係る調整累計額	62	59
その他の包括利益累計額合計	4,329	4,218
新株予約権	274	—
非支配株主持分	1,346	1,425
純資産の部合計	222,833	222,870
負債及び純資産の部合計	1,085,885	1,164,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	36,895	33,067
資金運用収益	886	896
(うち貸出金利息)	855	865
(うち有価証券利息配当金)	8	8
役務取引等収益	35,922	31,906
(うちATM受入手数料)	34,055	30,096
その他業務収益	58	37
その他経常収益	27	226
経常費用	25,786	24,671
資金調達費用	187	132
(うち預金利息)	27	18
役務取引等費用	10,159	8,987
(うちATM設置支払手数料)	7,812	7,034
(うちATM支払手数料)	1,290	858
営業経費	15,246	15,336
その他経常費用	193	215
経常利益	11,108	8,395
特別利益	—	1
固定資産処分益	—	1
特別損失	31	36
固定資産処分損	31	36
税金等調整前四半期純利益	11,077	8,361
法人税、住民税及び事業税	3,362	1,391
法人税等調整額	98	229
法人税等合計	3,461	1,620
四半期純利益	7,615	6,740
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△36
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,615	6,776

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	7,615	6,740
その他の包括利益	170	△170
その他有価証券評価差額金	167	△18
為替換算調整勘定	8	△148
退職給付に係る調整額	△5	△3
四半期包括利益	7,786	6,569
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,811	6,665
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	△95

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

有価証券の減損要否の判断にあたり、一部の出資先についてはその事業内容を勘案したうえで新型コロナウイルス感染症の影響が今後半年から1年程度で収束していくものと仮定し、当初事業計画値に反映したうえで会計上の見積りを行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、減損は不要と判断しております。

なお、上記見積りは連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づくものの、新型コロナウイルス感染症拡大の状況やその経済への影響が変化した場合には、第2四半期以降の連結財務諸表に影響を与える場合があります。

2021年3月期 第1四半期決算補足資料

目 次

1. 四半期財務諸表（単体）	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体）	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体）	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況	補足4

1. 四半期財務諸表（単体）

(1) 四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	842,606	897,472
有価証券	80,826	87,430
貸出金	23,528	23,659
外国為替	0	0
A T M仮払金	81,885	97,176
その他資産	13,732	14,276
有形固定資産	11,667	11,166
無形固定資産	27,768	28,964
前払年金費用	269	289
繰延税金資産	9,053	7,945
貸倒引当金	△50	△75
資産の部合計	1,091,287	1,168,306
負債の部		
預金	686,633	765,512
譲渡性預金	800	300
社債	105,000	105,000
A T M仮受金	45,052	50,676
その他負債	23,336	16,906
賞与引当金	361	622
株式給付引当金	236	547
負債の部合計	861,421	939,565
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,702	30,724
利益剰余金	168,025	167,149
自己株式	△338	△338
株主資本合計	229,091	228,259
その他有価証券評価差額金	499	480
評価・換算差額等合計	499	480
新株予約権	274	—
純資産の部合計	229,866	228,740
負債及び純資産の部合計	1,091,287	1,168,306

(2) 四半期損益計算書（単体）
第1四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
経常収益	29,811	26,524
資金運用収益	889	905
（うち貸出金利息）	858	875
（うち有価証券利息配当金）	8	8
役務取引等収益	28,823	25,484
（うちA T M受入手数料）	27,031	23,801
その他業務収益	63	37
その他経常収益	34	96
経常費用	18,488	18,403
資金調達費用	187	130
（うち預金利息）	27	18
役務取引等費用	5,049	4,856
（うちA T M設置支払手数料）	3,951	3,863
（うちA T M支払手数料）	264	131
営業経費	13,224	13,334
その他経常費用	27	82
経常利益	11,323	8,120
特別損失	19	25
固定資産処分損	19	25
税引前四半期純利益	11,303	8,094
法人税、住民税及び事業税	3,353	1,368
法人税等調整額	112	1,116
法人税等合計	3,465	2,485
四半期純利益	7,837	5,609

2. 自己資本比率（国内基準）の状況

(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2020年6月末	(参考) 2020年3月末
連結自己資本比率（国内基準）	50.60%	50.11%

(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2020年6月末	(参考) 2020年3月末
単体自己資本比率（国内基準）	56.18%	55.64%